

(様式1)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(追分小学校)学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

学校運営について理解し、学校教育の現状について意見を出し合うことを通して、どんな学校支援活動が必要か具体的な取り組みについて積極的に話し合い、実践につなげる。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

学校からの基本方針の説明を受け、追分小の強みや弱み、現状の悩みなどを理解・把握し、建設的な意見が出されるようになってきた。各委員がそれぞれの立場から責任感を抱いて発言し、熟議できていると理解している。ウェルビーイングの実現に向けて、各委員のベクトルが定まった議論ができたと思う。時間等の都合により、十分な質問をすることができなかつた点もあったが、全体としては熟議できたと評価する。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

学校の現状や困っていることについて、学校からの説明や授業参観を通して率直に話し合うことができ、少しずつ成果が表れてきたことを実感することができた。「楽しい学校」を目指し、保護者や地域から様々なボランティアを募集すること、講師を招いての授業・クラブ活動の実践を進めることができた。地域の方と関わりをもつ活動や、異学年と交流をもつ場を設定し、子供たちのコミュニケーションの場が多くなることで、学校生活に楽しさが増していると感じた。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

便りの発行や、校内の掲示コーナーの設置、ホームページやブログ等を通して、地域の学習素材や人材を生かした授業や学校支援活動の様子、運営協議会の資料や議事録などの情報発信を行うことができた。また、学校支援活動に協力してくださった方には、お礼の手紙の中で活動成果を伝えるようにした。こうした発信が新たな地域人材の掘り起こしや、ボランティア活動の輪の広がりにつながっていくと考える。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

学校生活の充実が少しずつ成果として表れ始めている。来年度は、委員が出した意見を学校としてどのように捉え、教育活動に活用しようと試みたのか、その結果はどうだったのか等について具体的な説明を聞きながら、子供たちの現状をしっかりと把握し、地域と学校の連携をさらに進化させていきたい。また、具体的な成果目標についても話し合っていきたい。